

日本農薬学会誌 Vol. 38, No. 2 (2013)

目 次

報 文

- イミダクロプリドおよびフィプロニルを有効成分とする育苗箱施用殺虫剤の連続施用がトンボ類幼虫の群集に及ぼす生態影響 …………… 早坂大亮, 鈴木一隆, 是永知子, 諸岡(斎藤)歩希, 野村拓志, 深澤圭太, Francisco SÁNCHEZ-BAYO, 五箇公一 101

学会賞受賞論文

- 農薬補助剤のライフサイクルに關与する環境微生物の分子生態学的研究 …………… 堀田雄大 108
蛍光分光法を用いたフェンバレレートの前駆ラジカル検出に關する研究 …………… 鈴木祐介 114
新規殺菌剤「ペンチオピラド」の研究開発 …… 柳瀬勇次, 勝田裕之, 富谷完治, 榎本 幹, 坂本 修 120
農作物中の残留農薬濃度に關する変動要因の評価 …………… 藤田眞弘, 飯島和昭 130
新規水稻除草剤「ピリミスルファン」の研究開発
…………… 吉村 巧, 池内利祐, 大野修二, 朝倉草平, 濱田祐介 136
平成25年度論文賞対象論文の概要とその研究背景 …… 中尾俊史, 浜 まさ子, 河原信行, 平瀬寒月 144

解 説

- 遺伝子組換え植物の開発利用の現状と今後 …………… 江面 浩 147
作物のストレス耐性機構解明研究へのプロテオミクス解析技術の応用 …………… 小松節子 154
日本の農薬産業技術史—農薬のルーツを探訪する— …………… 大田博樹 161
残留性有機汚染物質(POPs)規制の動向及びわが国の化審法における化学物質の審査状況と今後の課題
…………… 北野 大, 神園麻子 167
日本の農薬登録におけるガイドラインスタディと作用様式の研究のあり方について …………… 鈴木勝士 175

実験技術講座 QSAR編

- 第2回 気をつけよう, 統計的有意性とメカニズムの妥当性 …………… 清水 良 185
第3回 QSARパラメーターとその応用 …………… 赤松美紀 195

ミニレビュー

- 〈農薬製剤・施用法の歩みと今後の展望〉 …………… 大河内武夫 204
農薬製剤の基礎と今後の展望 …………… 辻 孝三 205
農薬製剤・施用法の歩みと今後の展望 …………… 藤田茂樹 213
我が国における農薬散布機について …………… 宮原佳彦 218
航空(有人へり)防除及び無人へり防除の歩みと今後の展望 …………… 芳賀俊郎 224

シンポジア

NIAS シンポジウム「ポストゲノム時代の害虫防除研究のあり方

第5回—殺虫剤抵抗性問題の最前線—	229
第30回農薬環境科学研究会「農薬の土壌中における挙動と作物残留」	231

JPS掲載論文の要旨

第38巻2号	236
第38巻3号	238

追 悼	241
-----	-----